

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
緒川地区

平成23年12月

愛知県知多郡東浦町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住人口	人	7,109	7,450	7,532	確定 見込み ●	○	あり なし	7,459	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路、公園の整備や土地区画整理事業等の計画事業を確実に実施・完了し、快適な居住環境が形成されたことで、地区内の建築活動が活発化し、地区内の居住人口が増加したと考えられる。
指標2	緒川駅乗車数	人/日	1,316	1,400	1,546	確定 見込み ●	○	あり なし	1,412	H23年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	運行バス事業や駅周辺の基盤整備、駐輪場の整備により、駅へのアクセスが強化されるとともに、駅の利用環境が向上し、緒川駅乗車数の増加につながったと考えられる。
指標3	災害からの安全性に関する住民満足度	%	13.5	20.0	38.5	確定 見込み ●	○	あり なし	27.1	H23年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	耐震補強により公共公益施設の安全性が高まるとともに、防災行政無線の設置により災害時の情報伝達が確実に行われる環境が整ったことで、災害からの安全性に関する住民満足度の上昇に至ったと考えられる。また、道路や公園、水路の整備、土地区画整理事業や公共下水道事業の実施により、防災上の観点からも地区内の居住環境が改善されたことも、満足度が上昇した要因の1つと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	防災面の強化と住民意識の向上	・防災行政無線の設置を継続的に実施した。 ・地元組織によって、地区の等高線入りマップの作成や地区内の生活道路上において標高表示を行うなど、地域住民による防災活動を実施した。	・防災無線の設置により、災害予報情報の早期伝達を図れるようになった。 ・防災に関する住民意識向上のための啓発活動により、住民の災害に対する意識の向上が図れた。	・防災無線は世帯の50%設置を目標として実施しているが、現在緒川地区については38%の設置にとどまっている、今後は住民に対し、今以上に防災無線の必要性をPRして設置数増加を促進する必要がある。 ・今後も地元組織を中心とした自主的な防災活動を継続し、住民のさらなる意識向上を図る必要がある。
	良好な交通環境の維持及び充実	・町道養父森岡線等の拡幅や歩道の整備を進めるとともに、地域住民から見通しが悪いと苦情が多い箇所や事故が多い箇所の交差点2箇所カーブミラーを設置した。	・道路の拡幅や歩道の整備、カーブミラーの設置など、交通安全施設の整備により交通環境の充実が図れた。	・今後も地域住民の意向を踏まえながら、安全性向上のための整備を検討し、交通環境のさらなる充実を図る必要がある。 ・緒川地区の生活道路は、狭い幅員の道路が多く、今後も住民の理解を得て建築行為に係る後退用地等を確保し、拡幅整備を推進する必要がある。
	生活環境の向上と住民参加によるまちづくりの推進	・土地区画整理事業(緒川駅東地区)の早期完了(H24完了予定)を目指すとともに、緑地2箇所の整備を進めた。 ・身近な公園としての利用環境を充実させるため、天白公園に幼児用遊具を増設した。	・緒川駅東土地区画整理事業(施工中)や緒川駅周辺の整備により駅が利用しやすくなり、生活環境の改善が図れた。 ・幼児用遊具の増設により、幼児も安全に楽しく遊ぶことができるようになり、利用環境が向上した。	・緒川駅東や駅周辺以外の地区も含め、生活環境を向上するために住民と協働してまちづくりを推進する必要がある ・遊具の数が少ない公園があるため、今後も利用者のニーズを把握しながら遊具の増設を検討するなど、利用環境の充実を図る必要がある。
改善策				
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地域住民との協働によるまちづくり	緒川駅周辺の地区も含め、生活環境の向上を目指した協働のまちづくりを進める。	平成25年～	協働のまちづくりを進めるためには、地区の選定、地域住民の求めるまちづくり、活動したい内容など、地域住民のニーズを把握する必要がある。